

## 1. はじめに；本研究の目的

本研究は、白山ユネスコエコパークエリア（図 1）で親鸞聖人の御祥月命日に勤める法要である報恩講（写真 1）に提供される伝統の行事食「ほんこさん料理」（写真 2）を事例として、地域の植生を活かしつつ暮らしを営む人々の言説と実践から、ほんこさん料理の生物文化多様性としての意義と、今日的食文化継承の展望を描くことを目的とする。ほんこさん料理は地域で採取した食材で調理される料理である（写真 2）。そこで、研究のゴールとして食材の基となる植生データベースの作成を目指した（表、別紙）。白山ユネスコエコパーク（図 2）のうち対象エリアを、五箇山エリア（富山県南砺市相倉、菅沼）、白峰エリア（石川県白山市）、図 1 白山ユネスコエコパークエリア勝山エリア（福井県勝山市）に選定した。



写真 1 昭和期の報恩講



写真 2 ほんこさん料理

## 2. 各エリアの植生と食材の関係性

### 【五箇山エリア】

1853（嘉永 6）年の「五ヶ山諸事覚帳」の記述には、加賀藩でゼンマイを発注し、また、産品としてウド、スタケ、ヒラタケが列挙してあり（利賀村 1999）、当時の豊かな植生が推測できる。ダイズは多く作られ、手製のにがり豆腐を作ったという。故に、シラ和えも目立った。小瀬谷ではゼンマイ、人形山でウドが採取できるが、聞き取りや文献調査（森 2014, 千秋 2009 ら）でも、献立に山林で採取した食材は多くなく、畑栽培の野菜が中心である。

### 【白峰エリア】

白峰エリアの特徴は山林の植物を多く食材に取り入れており、その椀の多さである。椀数は 9 種を数える。地域住民は常畑で穀類や、野菜類を自給自足していた。白峰では 1866（慶応 2）年には既にワサビが作られていた記録がある（橘 2015）。現在も沢ワサビ、畑ワサビはワサビ和えに利用されており、五箇山・勝山エリアでは提供されていない。

### 【勝山エリア】

北谷地区では冬の裏作で作った菜種を搾油場で交換して得た菜種油で油揚げを作っていた。おひら椀の油揚げは、今日、ほんこさん料理を表象する食材である。味噌はダイズから、自

家味噌を作り、味付けに利用していた。ホウキギのほうき和えは勝山ならではであった。また、コンニャクイモが豊富であり、コンニャクのユズ味噌和えや、エゴマ和えが提供される。

表1 3エリアの特徴（まとめ）

	五箇山エリア	白峰エリア	勝山エリア
地勢	菅沼の標高は約300m、相倉は約400m。	標高500m	標高500m（北谷）
料理の特徴	膳の数は、おひら、ツボ、中盛（チャッツ）、ママ椀、汁椀、の5膳程度と、ヒキモン料理。	食材の豊かさ、膳は小豆皿、なます皿、ゼンマイ皿、漬物、コクシヨ椀、チョコ、煮物椀、ママ椀、汁椀の7~9膳が多い。その他、ヒキモノ料理と茶の子皿である。	食材、膳数は白峰より少ない。飯まま、坪、お汁、煮しめ、チョコ、煮物、和え物、おひらである。
地勢と献立との関係	富山県と石川県を堺に、富山県ではブナ林を伐採し、石川県ではブナ林が現存（右記参照）。菅沼はブナ林、相倉はトチやケヤキが多く散見できる。水利が不便で稲作は適さず、ダイズ栽培が主流。湧き水で作る豆腐（五箇山豆腐）が特徴的である。高山エリアのほんこさん料理と献立が近い。	標高1,000m以下の二次林にはククラゲ等が群生。ブナ林ではムキタケ、ブナハリタケが採取できる。倒木を分解するキノコは豊富である。未耕地や日照不足の土地が多いが、積極的にエゴマが作られ、山菜和えとして利用。山水によるハクサンワサビが好まれ、ワサビ和えが提供されている点に特徴がある。	白山麓の文化の影響を受けつつも、奥越地方のサトイモのカッチリ、じんだは、五箇山エリアと共通している。白峰エリアと献立が酷似している点に関しては、勝山と白峰はバスで往来した時代があったことから、人の往来を由来とした行事食の類似性だと推測できる。
植生と献立との関係性	ウド、フキ等の双子葉植物が汁物やヒキモンに多用されている。	トチ、ミズナラ等の落葉広葉樹が多く、クルミ和えとして利用。ブナ帯での菌類が多く調理に多用されている。	植生の量は少ない。シソ類はエゴマ一種で、エゴマ和えに利用されており、今日、地域振興食とされている。
ほんこさん料理における野生植物の利用状況	ウド、クグミ、ゼンマイ、クルミ、カラシ、ススタケ	ゼンマイ、クリ、ナメコ、シイタケ、ユリ根、ウド、ククラゲ、マイタケ、フキ、ハクサンアザミ、ガヤ、トチ、ワラビ、クサソテツ、ハクサンアザミ、ウド、フキ、オオバギボウシ、マイタケ、ムクゴケ、スギミミ、トチ、ギンナ	ゼンマイ、ワラビ、ハクサンアザミ、ウド、フキ、ヤブレガサ

		ン、ツノハシバミ、シロゴケ、 ブナハリタケ、オニグルミ、 ワサビ、エゴマ、ヤグレガサ	
ほんこさ ん料理に おける自 家栽培の 植物	キントキマメ、ニンジン、ア オマメ、ナメコ、エドカブ ラ、アズキ、サトイモ、サツ マイモ、エゴマ、五箇山カブ ラ、ハクシャクカボチャ、コ ンニャクイモ、辛子、ゴマ、 ダイズ、ズイキ	アズキ、ダイコン、ニンジン、 サトイモ、キントキマメ、ト ウフ、ナメコ、ジャガイモ、 エドカブラ、ナンバ（辛子）、 ワサビ、粕、ミョウガ、ダイ ズ、エドカブラ、	アズキ、ダイコン、サトイモ、 コンニャクイモ、ニンジン、 ゴマ、ダイズ、ゴボウ、サツ マイモ、ラッカセイ、コンニ ャクイモ、がんもどき、エゴ マ、ホウキギ、シイタケ、ホ ウキギ、エゴマ、ユズ

### 3. おわりに

本研究では、白山ユネスコエコパークエリアのほんこさん料理の献立に利用される、植生のデータベースの作成を行い、ここから、身近な自然価値と文化的価値との関係性から、白山における自然と文化の統合を捉えることを可能とした。この結果からは、自然と人々との調和と共生ともいえる生活文化多様性に息づいた食の利用が確認できた（表 10）。採取できる食材の調達範囲や採取時期については、人々に身体化された記憶となっている。現在、このような伝統の行事食の継承の困難要因としては、記憶の断絶がある。継承が困難な今日、生態的観点から、いかに自然と暮らしが連動しているのかを明らかにした。

なお、本研究は、白山ユネスコエコパーク協議会の R4 年度学術研究等奨励助成研究「白山地域における伝統の行事食「ほんこさん料理」の継承に向けた研究」により、実施いたしました。ここに謝意を表します。

【参考図書／リーフレット】 橘礼吉「白山奥山人の民俗誌」2015,白水社／千秋謙治「越中五箇山炉辺史話」2009,桂書房／利賀村「利賀村史」1999／日本ユネスコ国内委員会「ユネスコエコパーク—自然と人間の調和と共生」リーフレット【データベース作成／書籍／インターネット】池田良幸「北陸のきのこ図鑑」2010,橋本確文堂／大橋広好 編「日本の野生植物」2015,平凡社／太田弘,小路登一,長井真隆「富山県植物誌」1983,廣文堂／渡辺定路「改訂増補福井県植物誌」2003,福井新聞社／石川県・いしかわの食べられるきのこ 29 種

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ringyo/kinoko/i30/page000.html>

植物和名－学名インデックス Ylist [http://ylist.info/ylist\\_simple\\_search.html](http://ylist.info/ylist_simple_search.html)

4. 別紙 3 エリアの植生データベース

五箇山エリアの植生データベース			
	和名・学名	科・属	採取期
シダ類	ゼンマイ <i>Japonica Thunb</i>	ゼンマイ科ゼンマイ属	5月初・中旬
	ワラビ <i>Pteridium aquilinum</i>	コバノイシカグマ科ワラビ属	5月末～6月
裸子植物	チシマザサ <i>Sasa kurilensis</i>	タケ亜科ササ属	5月中～6月
双子葉植	クリ <i>Castanea crenata Siebold</i>	ブナ科クリ属	9月～
	オニグルミ <i>Juglans mandshurica</i>	クルミ科クルミ属	9月
	ウド <i>Aralia cordata</i>	ウコギ科タラノキ属	5月中～6月
	フキ <i>Petasites japonicus</i>	キク科フキ属	6月
菌類	ナメコ <i>Pholiota microspora</i>	モエギタケ科スギヒラタケ属	9月～11月
	シイタケ <i>Lentinula edodes</i>	ヒラタケ科シイタケ属	春・秋
白峰エリアの植生データベース			
シダ類	ゼンマイ <i>Osmunda japonica</i>	ゼンマイ科ゼンマイ属	5月
	ワラビ <i>Pteridium aquilinum</i>	コバノイシカグマ科ワラビ属	5月末～6月
	クサソテツ <i>Matteuccia struthiopteris</i>	コウラワラビ科クサソテツ属	5月(短)
シソ類	エゴマ <i>Perilla frutescens</i>	シソ科シソ属	5月～6月
単子葉植物	オオバギボウシ <i>Hosta sieboldiana</i>	ユリ科ギボウシ属	5月末～6月
	ヤマユリ <i>Lilium auratum</i>	ユリ科ユリ属	8月
裸子植物	チャボガヤ <i>Torreya nucifera Siebold et Zucc</i>	イチイ科カヤ属	9月
	ギンナン(イチョウ) <i>Ginkgo biloba</i>	イチョウ科イチョウ属	10月
双子葉植物	トチノキ <i>Aesculus turbinata</i>	ムクロジ科トチノキ属	9月
	クリ <i>Castanea crenata Siebold</i>	ブナ科クリ属	9月～
	ツノハシバミ <i>Corylus sieboldiana</i>	カバノキ科ハシバミ属	秋

	ハクサンアザミ <i>Cirsium matsumurae</i>	キク科アザミ属	4月～5月
	オニグルミ <i>Juglans mandshurica</i>	クルミ科クルミ属	9月
	ウド <i>Aralia cordata</i>	ウコギ科タラノキ属	5月～6月
	フキ <i>Petasites japonicus</i>	キク科フキ属	6月
	ハクサンワサビ <i>Eutrema japonicum</i>	アブラナ科ワサビ属	秋
	ヤブレガサ <i>Syneilesis palmata</i>	キク科ヤブレガサ属	5月
菌類	ブナハリタケ <i>Mycoleptodonoides aitchisonii</i>	シワタケ科ブナハリタケ属	9月～10月
	ヒラタケ <i>Pleurotus ostreatus</i>	ヒラタケ科ヒラタケ属	晩秋
	スギヒラタケ <i>Pleurocybella porrigens</i>	キシメジ科スギヒラタケ属	
	ナメコ <i>Pholiota microspora</i>	モエギタケ科スギヒラタケ属	9月～11月
	シイタケ <i>Lentinula edodes</i>	ヒラタケ科シイタケ属	春・秋
	キクラゲ <i>Auricularia auricula-judae</i>	キクラゲ科キクラゲ属	6月～9月
	マイタケ <i>Grifola frondosa</i>	シワタケ科マイタケ属	10月
勝山エリアの植生データベース			
シダ類	ゼンマイ <i>Osmunda japonica</i>	ゼンマイ科ゼンマイ属	5月
	ワラビ <i>Pteridium aquilinum</i>	コバノイシカグマ科ワラビ属	5月末～6月
	クサソテツ <i>Matteuccia struthiopteris</i>	コウラワラビ科クサソテツ属	5月(短)
シソ類	エゴマ <i>Perilla frutescens</i>	シソ科シソ属	5月～6月
裸子植物	ラッカセイ <i>Arachis hypogaea</i>	マメ科マメ亜属	9月
菌類	ナメコ <i>Pholiota microspora</i>	モエギタケ科スギヒラタケ属	9月～11月
	シイタケ <i>Lentinula edodes</i>	ヒラタケ科シイタケ属	春・秋